



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社マルイチ産商

コード番号 8228 URL <http://www.maruichi.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 藤沢 政俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 企画・管理部門 (氏名) 白井 幸男

TEL 026-285-4101

四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日

配当支払開始予定日

平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	81,476	3.3	247	△34.4	466	△20.5	257	△20.0
25年3月期第2四半期	78,872	4.7	376	182.1	586	72.9	321	97.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 314百万円 (39.4%) 25年3月期第2四半期 225百万円 (1.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	11.15	—
25年3月期第2四半期	13.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	37,340	17,735	46.9
25年3月期	41,764	17,560	41.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 17,500百万円 25年3月期 17,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	6.00	8.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	162,000	1.4	1,000	9.9	1,350	2.1	650	6.9	28.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	23,121,000 株	25年3月期	23,121,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	65,997 株	25年3月期	65,841 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	23,055,129 株	25年3月期2Q	23,055,330 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融・財政政策等を背景に円安・株高が進む等、緩やかな回復基調が見られましたが、一方で個人消費や所得環境は、景気の高揚感を実感できない状況が続いております。食品流通業界におきましては、消費者の生活必需品に対する低価格志向・節約志向が継続し、企業間での業態・業種を超えた価格競争が激化する等、厳しい経営環境が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、売上拡大に向けて、強みであります商品調達力・開発力と、生鮮基軸の地域密着型フルライン機能を発揮し、新規顧客開拓と既存顧客の深耕化を進めました。一方、急激な相場変動による仕入価格上昇への対応を進め、収益改善に努めました。ロジスティクス基盤の構築に向けては、新たなフルライン対応型物流拠点「山梨・西関東広域流通センター」を開設し、調達ネットワークと配送網の整備に取り組みました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は、814億76百万円（前年同期比3.3%増）となりました。利益面につきましては、営業利益2億47百万円（前年同期比34.4%減）、経常利益4億66百万円（同20.5%減）、四半期純利益2億57百万円（同20.0%減）となりました。

[セグメント別の概況]

※各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

<水産事業セグメント>

売上高 575億9百万円（前年同期比4.5%増）

営業利益 68百万円（前年同期比43.7%減）

売上高につきましては、大衆魚（あじ、いわし等）や鮭の売上が好調に推移したことに加え、フードサービス事業による外食・惣菜マーケットへの販売拡大により、前年同期に対して24億58百万円の増収となりました。

営業利益につきましては、売上高の拡大により売上総利益は増加しましたが、水産物全般の価格上昇の影響により、前年同期に対して52百万円の減益となりました。

<一般食品事業セグメント>

売上高 122億96百万円（前年同期比6.2%減）

営業利益 51百万円（前年同期比11.5%減）

売上高につきましては、地域小売業へのフルライン機能を活かした提案型営業による取引拡大と、当社オリジナル商品の開発と販売を積極的に進めましたが、大手小売業の仕入調達ルート変更の影響もあり、前年同期に対して8億11百万円の減収となりました。

営業利益につきましては、店頭での低価格競争の影響により販売価格が低下し、管理費等のコスト削減に努めたものの、前年同期に対して6百万円の減益となりました。

<畜産事業セグメント>

売上高 113億52百万円（前年同期比8.5%増）

営業利益 1億21百万円（前年同期比21.6%減）

売上高につきましては、国産畜肉価格の高騰と、円安による輸入品の値上げという状況の中、当社オリジナル開発商品であります「りんご和牛信州牛」「信州米豚」「信州ハーブ鶏」の拡売を進めたことから、前年同期に対して8億91百万円の増収となりました。

営業利益につきましては、相場の高値推移に対して販売価格への転嫁が遅れ、管理費等のコスト削減を進めましたが、前年同期に対して33百万円の減益となりました。

<その他（小売店の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）>

売上高 3億18百万円（前年同期比26.6%増）

営業利益 6百万円（前年同期比85.0%減）

子会社でありますA E S㈱による小売店の店舗支援事業と、同マルイチ・ロジスティクス・サービス㈱による物流・冷蔵倉庫事業について、グループ内の各事業との組織的な連携強化を進め、売上高は、前年同期に対して66百万円の増収となりました。一方、営業利益は前年同期に対して36百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は373億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して44億24百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金が27億58百万円、受取手形及び売掛金が22億32百万円、投資有価証券が2億24百万円減少する一方で、商品及び製品が8億94百万円増加したことによります。

負債は196億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して46億円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が39億18百万円、未払法人税等が2億73百万円、流動負債その他が3億92百万円減少したことによります。

純資産合計は177億35百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億75百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の41.5%から46.9%に増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は37億22百万円となり、前連結会計年度末と比較して27億1百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は24億19百万円となりました（前年同四半期連結累計期間に増加した資金は12億60百万円）。これは主に、税金等調整前四半期純利益が4億66百万円、減価償却費が2億99百万円となる一方で、売上債権・たな卸資産・仕入債務からなる運転資金が25億73百万円減少し、法人税等の支払額が4億16百万円となったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は54百万円となりました（前年同四半期連結累計期間に増加した資金は6百万円）。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1億15百万円、貸付けによる支出が2億40百万円となる一方で、投資有価証券の償還による収入が3億円となったことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は2億27百万円となりました（前年同四半期連結累計期間に減少した資金は3億73百万円）。これは主に、リース債務の返済による支出が88百万円、配当金の支払額が1億38百万円となったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,534	3,776
受取手形及び売掛金	15,107	12,875
商品及び製品	2,365	3,260
仕掛品	5	7
原材料及び貯蔵品	67	61
その他	2,164	1,985
貸倒引当金	△133	△99
流動資産合計	26,111	21,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,634	3,533
土地	7,639	7,639
その他（純額）	736	778
有形固定資産合計	12,010	11,952
無形固定資産		
のれん	323	281
その他	200	189
無形固定資産合計	524	470
投資その他の資産		
投資有価証券	2,123	1,899
その他	1,103	1,255
貸倒引当金	△108	△104
投資その他の資産合計	3,118	3,050
固定資産合計	15,653	15,473
資産合計	41,764	37,340
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,823	13,904
短期借入金	1,500	1,500
未払法人税等	431	158
賞与引当金	481	481
その他	2,218	1,825
流動負債合計	22,454	17,869
固定負債		
退職給付引当金	652	630
役員退職慰労引当金	228	205
債務保証損失引当金	90	90
資産除去債務	78	79
その他	701	729
固定負債合計	1,750	1,734
負債合計	24,204	19,604

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,380	3,380
利益剰余金	10,129	10,247
自己株式	△53	△53
株主資本合計	17,175	17,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	159	205
その他の包括利益累計額合計	159	205
少数株主持分	224	235
純資産合計	17,560	17,735
負債純資産合計	41,764	37,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	78,872	81,476
売上原価	71,243	73,848
売上総利益	7,628	7,628
販売費及び一般管理費	7,252	7,381
営業利益	376	247
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	46	44
受取賃貸料	86	89
その他	87	93
営業外収益合計	222	229
営業外費用		
支払利息	5	4
固定資産除却損	3	2
貸倒引当金繰入額	1	—
その他	1	2
営業外費用合計	12	10
経常利益	586	466
税金等調整前四半期純利益	586	466
法人税、住民税及び事業税	247	144
法人税等調整額	13	53
法人税等合計	260	198
少数株主損益調整前四半期純利益	326	268
少数株主利益	4	11
四半期純利益	321	257

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	326	268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△100	46
その他の包括利益合計	△100	46
四半期包括利益	225	314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	221	303
少数株主に係る四半期包括利益	4	11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	586	466
減価償却費	311	299
のれん償却額	44	42
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	44	△38
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△41	△22
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10	△22
受取利息及び受取配当金	△48	△46
支払利息	5	4
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,069	2,235
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△472	△890
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,447	△3,918
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△57	145
その他の負債の増減額 (△は減少)	△134	△313
その他	13	13
小計	1,620	△2,045
利息及び配当金の受取額	49	47
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△411	△416
法人税等の還付額	8	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,260	△2,419
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△91	△115
無形固定資産の取得による支出	—	△64
資産除去債務の履行による支出	—	△10
投資有価証券の取得による支出	△7	△7
投資有価証券の償還による収入	—	300
貸付けによる支出	—	△240
貸付金の回収による収入	—	12
定期預金の預入による支出	△43	△45
定期預金の払戻による収入	156	102
その他	△7	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	6	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△200	—
リース債務の返済による支出	△74	△88
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△92	△138
少数株主への配当金の支払額	△6	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373	△227
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	893	△2,701
現金及び現金同等物の期首残高	6,786	6,424
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,680	3,722

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	55,051	13,107	10,461	78,620	251	78,872	—	78,872
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	1	1,483	1,484	△1,484	—
計	55,051	13,108	10,461	78,621	1,735	80,356	△1,484	78,872
セグメント利益	120	57	155	333	43	376	—	376

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	57,509	12,296	11,352	81,157	318	81,476	—	81,476
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	1,703	1,704	△1,704	—
計	57,509	12,297	11,352	81,158	2,021	83,180	△1,704	81,476
セグメント利益	68	51	121	240	6	247	—	247

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。